山林の植生・シカ等の生態系分科会　広域アクションプラン③

適応アクション②　ニホンジカの生息域拡大による植生等への被害の未然防止に向けたモニタリング情報の共有及び適応策の実施

目　的

- ニホンジカの分布拡大による高標高域の重要な植生や希少植物等への影響を未然に防止する。

適応アクション

- 関係主体間で植生やニホンジカのモニタリング情報を共有
- 情報を集約し、ニホンジカの分布拡大傾向、高密度地域、侵入ルートを把握
- 集約された情報を基に、効果的な捕獲（高密度地域や侵入ルートにおける捕獲、連携捕獲等）を検討

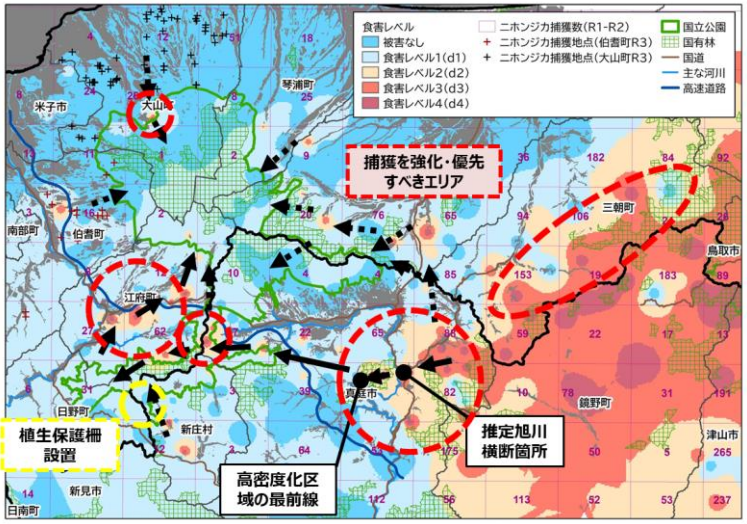

図　情報集約のイメージ

実施体制・主体

＜ モデルアクション対象地域 ＞

- 保全管理対象を有する主体や対象地域の県により、相互に情報共有と解析結果のフィードバックを行う。
- 中国四国地方環境事務所が情報共有のための声かけを行い、必要に応じて打合せの場を設ける。

大山蒜山周辺地域	鳥取県	岡山県	近畿中国森林管理局	中国四国地方環境事務所
石鎚山系周辺地域	愛媛県	高知県	四国森林管理局	中国四国地方環境事務所

ロードマップ

＜ モデルアクション対象地域 ＞

- 大山蒜山周辺地域及び石鎚山系周辺地域においては、令和5年度よりアクションを実装

＜ その他の地域 ＞

- 今後ニホンジカの分布拡大が予測される地域においては、分布拡大の状況に応じて、モデルアクションを参考に取組を検討